

第2回印旛地域保健医療連携・地域 医療構想調整会議	基調報告1 資料1
令和8年3月24日(火)	

国際医療福祉大学成田病院について

2026年3月24日 (火)

国際医療福祉大学成田病院の概要①



【敷地面積】 48,365坪（約16ヘクタール）

【病床数】 642床（一般病床600床、精神病床40床、第一種感染症病床2床）

【診療科（35）/センター（12）】

循環器内科、心臓外科、血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、腎臓内科、腎泌尿器外科、糖尿病・代謝・内分泌内科、アレルギー・膠原病内科、感染症科、産科・婦人科、腫瘍内科、血液内科、緩和医療科、精神科、小児科、小児外科、乳腺外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、歯科口腔外科、麻酔・集中治療科、病理診断科、臨床検査科、救急科、放射線科（診断・核医学・治療）

予防医学センター、脊椎脊髄センター、消化器病センター、リハビリテーションセンター、血液浄化（透析）センター、輸血センター、創傷治療センター、緩和ケアセンター、国際臨床感染症センター（感染症科/感染制御部）、遺伝子診断センター、国際遠隔診断センター（放射線診断/病理診断/内科診断）、がん放射線治療センター

国際医療福祉大学成田病院の概要②

- ・ 2017年9月26日：当院開設 病床数642床＜一般600・精神40・感染症2＞許可通知受領
- ・ 2020年3月16日：開院 病床数322床＜一般300・精神20・感染症2＞にて申請し、使用許可)
※当初4月開院予定でしたが、国・県からのCOVID-19感染患者受入要請にのため前倒し開院
- ・ 2021年4月：病床数486床＜一般454・精神30・感染症2＞へ増床申請し、使用許可
- ・ 2022年4月：病床数615床＜一般573・精神40・感染症2＞へ増床申請し、使用許可
- ・ 2025年12月現在：運用病床539床

※病床数：千葉県及び関東信越厚生局より許可を得ている病床数

従業員数

・ 2026年1月1日時点で、1,672名の職員が当院に従事しています。

2026年1月1日現在

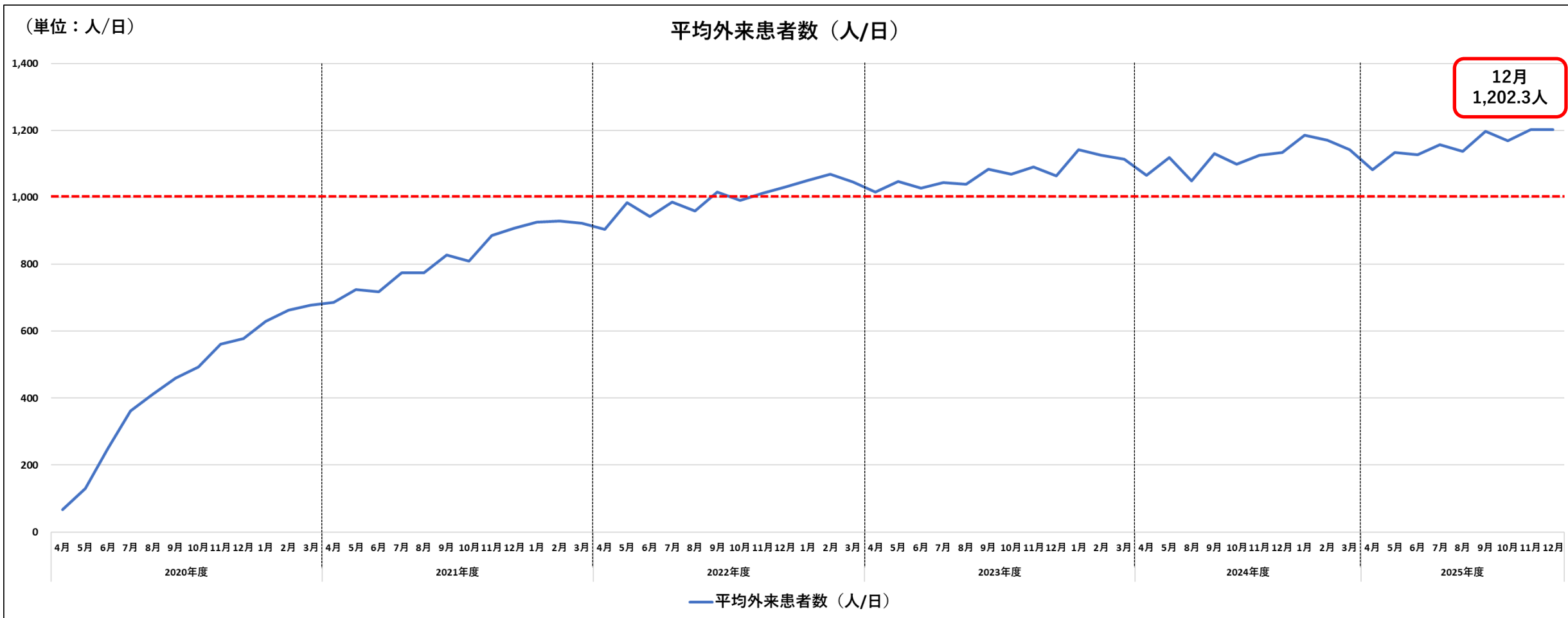
(単位：人)

医師 ※	324	臨床工学士	14
看護師	571	歯科衛生士	5
コメディカル	331	救急救命士	4
薬剤師	43	臨床心理士	2
放射線技師	52	視能訓練士	11
検査技師	61	薬剤助手	16
リハ	61	看護補助	62
その他	114		
栄養室・レストラン	65	清掃	51
事務・医療事務	286	設備営繕	10
その他	95	誘導案内	15
合計	1,672	電話交換	5
		運転手	8
		保育士	6

※ 医師は初期研修医：56名含む。

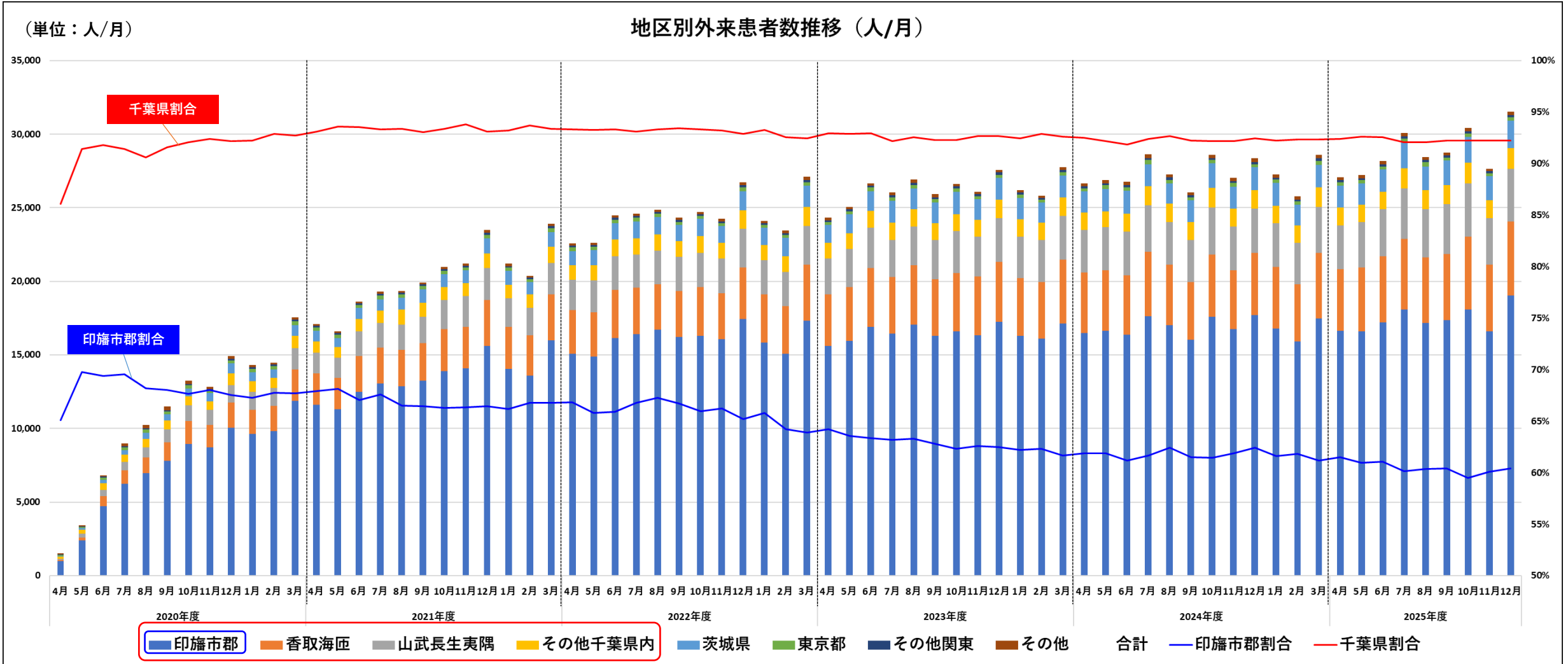
平均外来患者数の推移（人/日）

- ・開院以降増加基調にあり、2022年11月以降毎月1,000人/日を超えて推移しています。2026年12月は、平均1,202.3人と過去最高を記録しました。



(参考) 地区別の平均外来患者数の推移 (人/月)

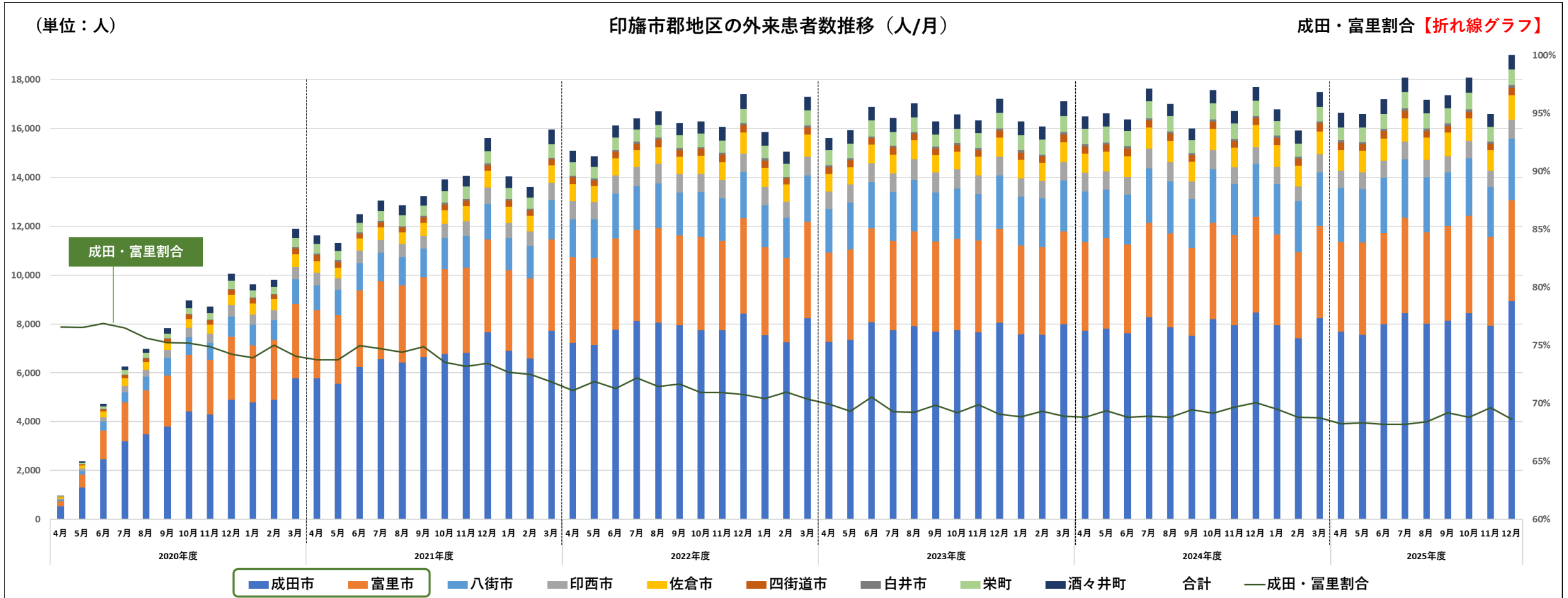
- ・ 地域別の外来患者については、県内が9割強、印旛医療圏は6割強で推移しています。
- ・ 印旛医療圏以外の患者数の増加も外来患者数の増加につながっています。



(参考) 印旛市郡地区の平均外来患者数の推移 (人/月)

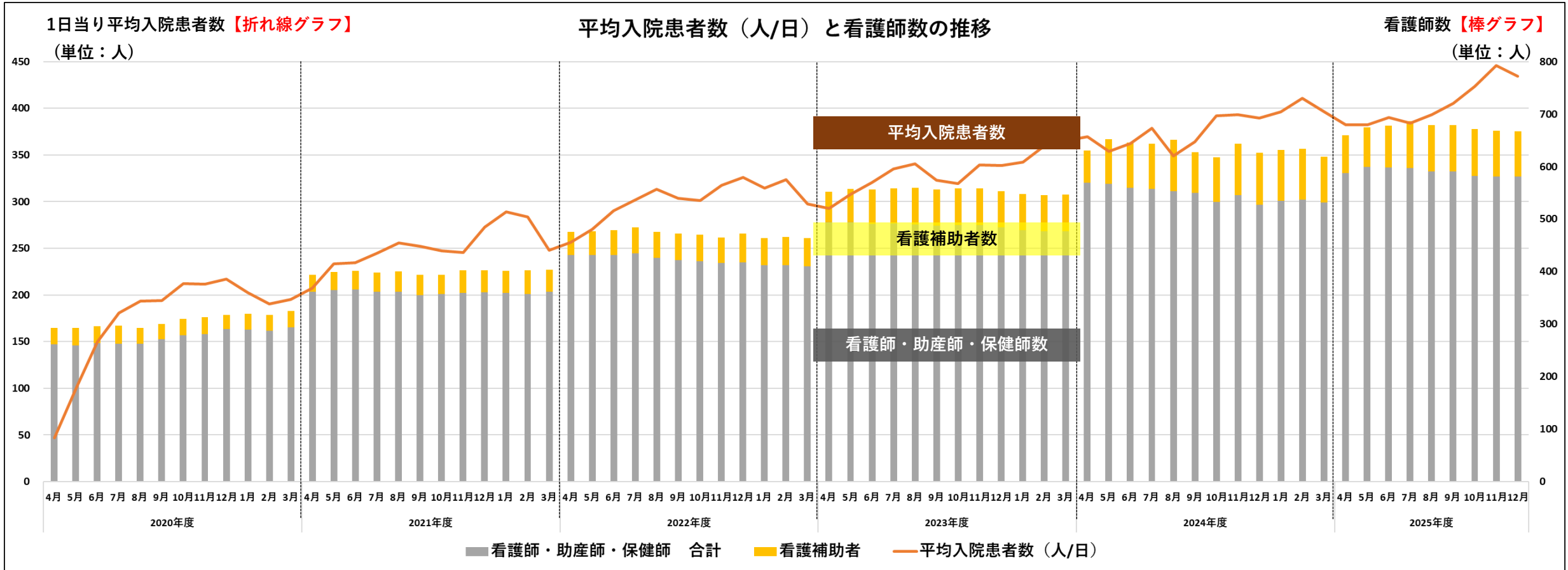
・ 印旛市郡地区では、地区全体を100とすると地元の成田市・富里市が70%程度で推移中です。

※2025年度実績：成田47.0%、富里21.7%、八街13.2%、佐倉5.4%、印西4.0%、栄3.4%、酒々井3.3%、四街道1.6%、白井0.4%



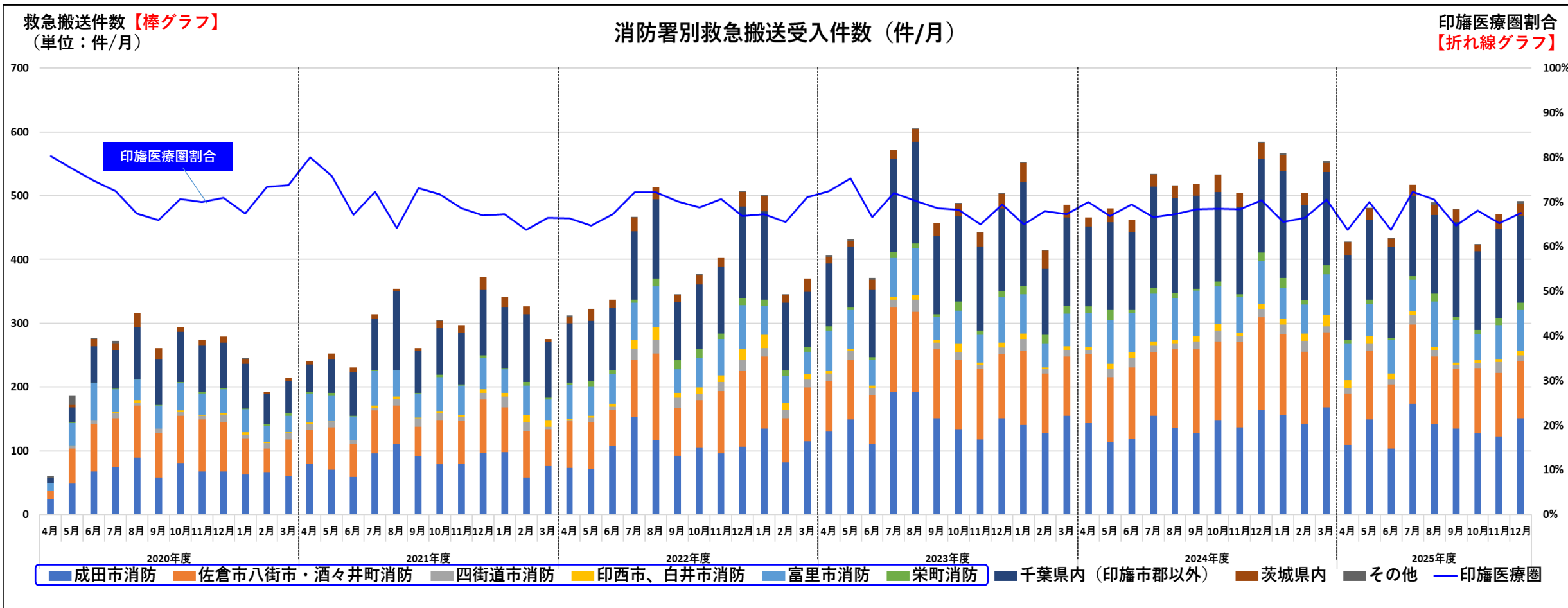
平均入院患者数の推移（人/日）

- ・ 入院患者数は病床拡大により増加基調で、2025年11月に1日当りの平均入院患者数が445.6人を記録しました。
- ・ 2025年10月より運用病床539床に拡大、ピークの日は500人を記録しています。



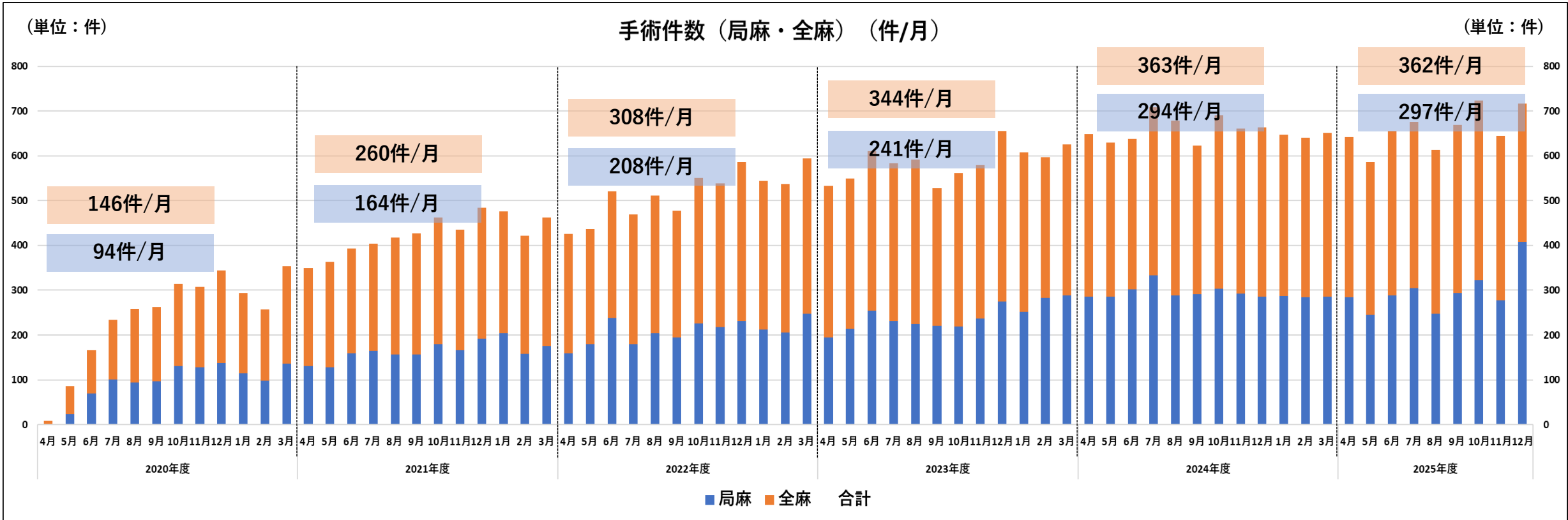
消防署別の救急搬送受入状況（件/月）

- ・ 印旛医療圏に限らず、県内他医療圏や茨城県からの救急要請にも積極的に応需しています。
- ・ 印旛医療圏からの受入割合は全体の約7割となっています。



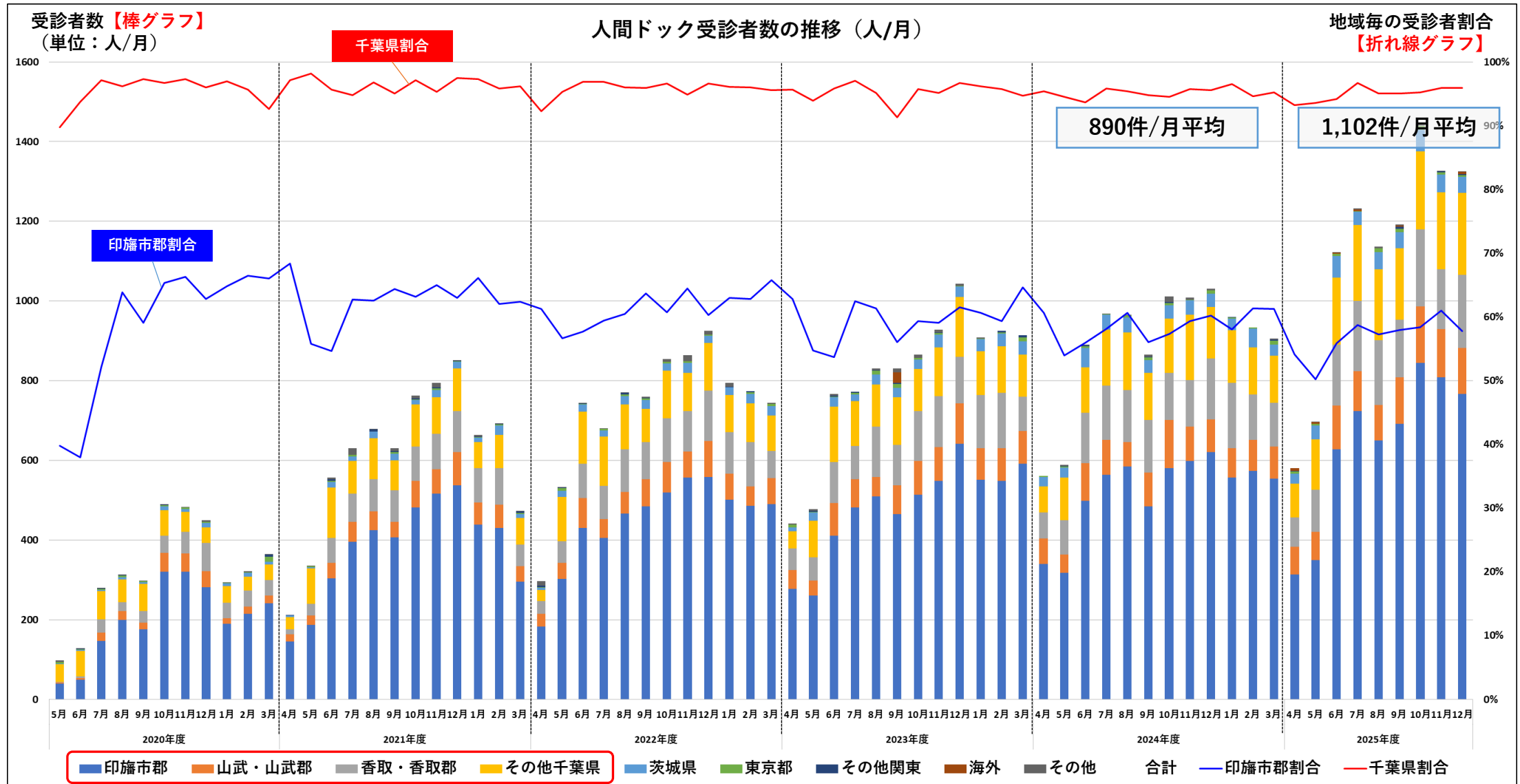
手術件数（件/月）

- ・ 現在手術室は15室運用となり、手術件数は2025年度は月平均659件まで増加しています。
- ・ 今後も増室及び看護師配置見直し等により手術件数増加を目指す方針です。



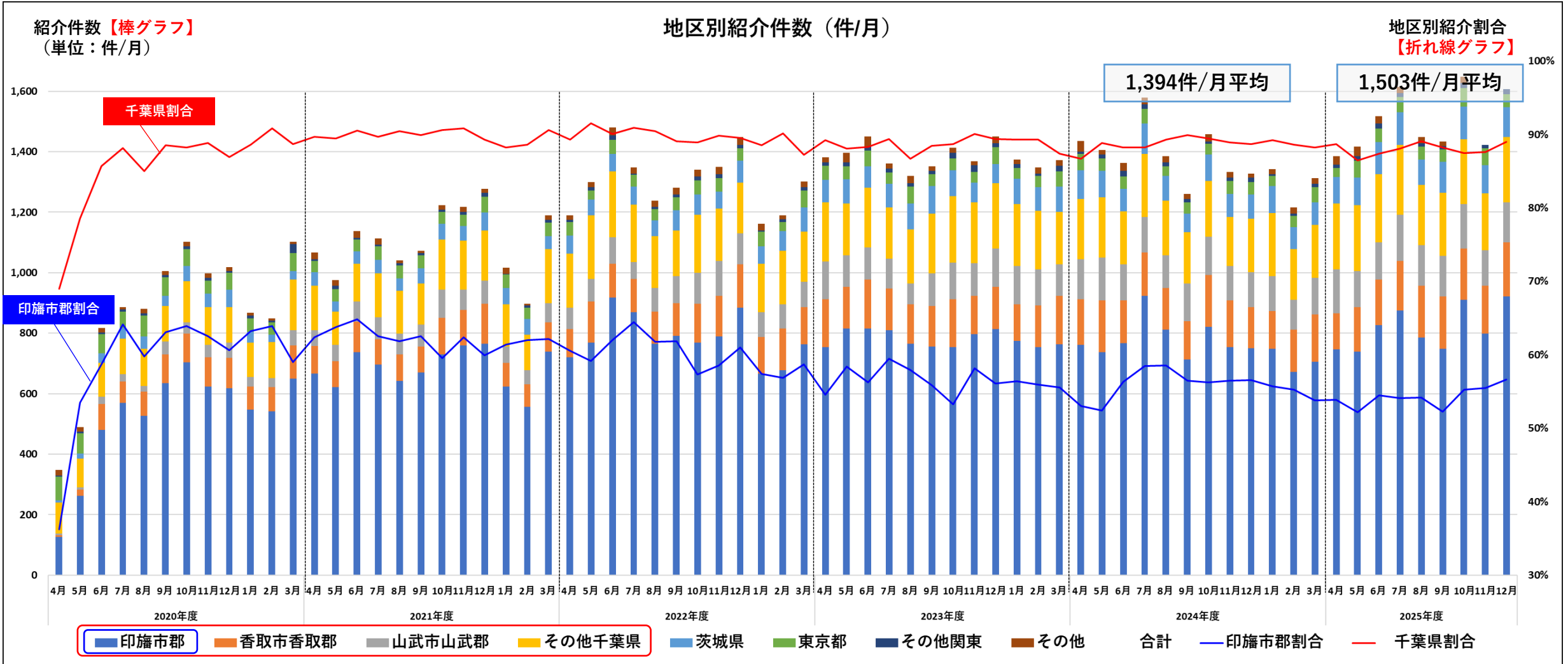
人間ドック受診者数（人/月）

- ・ 人間ドック受診者は、前年比120%程度で推移しており、増加基調を継続しています。
- ・ 地域毎の受診者割合は、9割強が県内、約6割が印旛市郡となっています。



地域医療機関からの紹介件数（人/月）

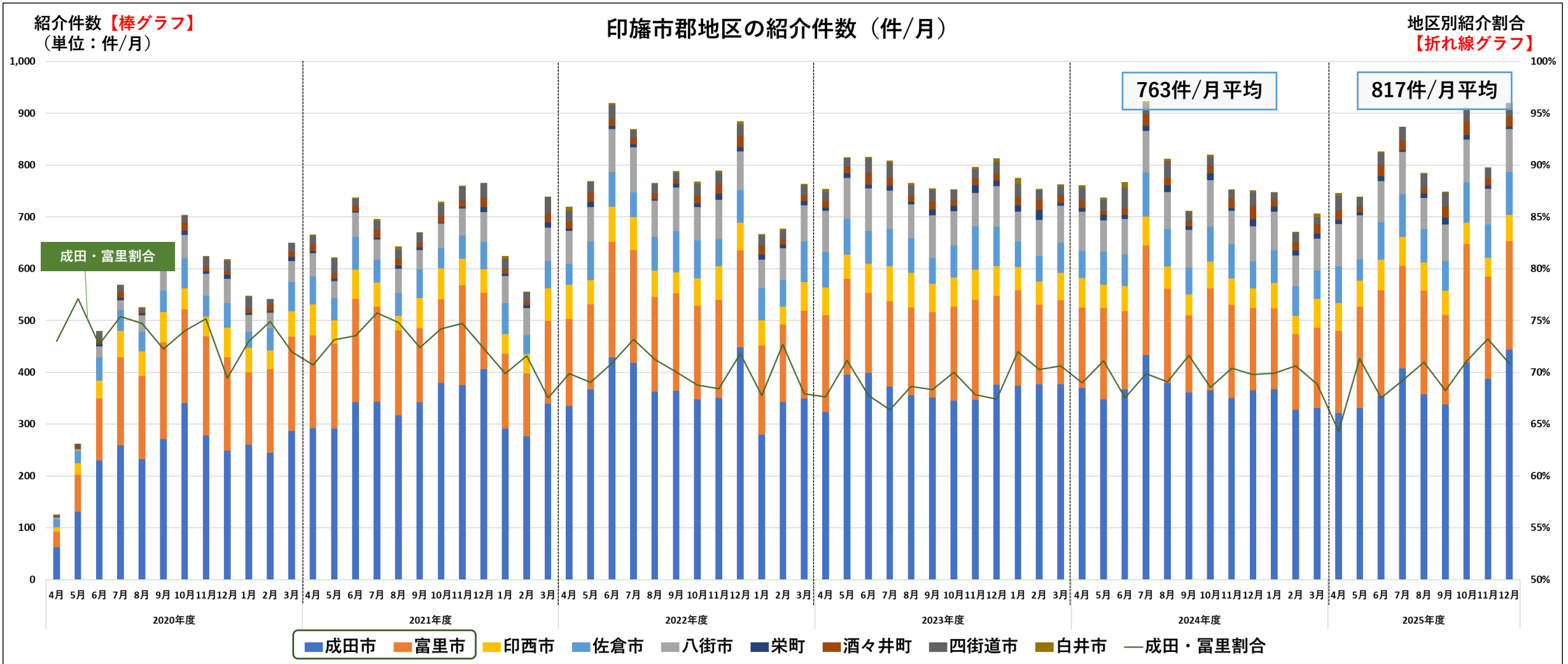
- ・ 2025年度は、月平均1,503件をとなり、前年を上回るペースで推移しています。
- ・ 地域別の医療機関の紹介割合は、県内が約9割、印旛市郡は約6割となっています。



(参考) 印旛市郡地区の医療機関からの紹介件数 (人/月)

・印旛医療圏では、地元の成田市・富里市の医療機関からの紹介が7割程を占めています。

※2025年度実績：成田43.0%、富里21.3%、八街11.0%、佐倉9.4%、印西7.2%、四街道3.8%、酒々井2.5%、栄1.1%、白井0.7%



地域医療機関向け症例報告会の開催状況

・近隣の医療機関向けに様々な診療科が対面形式で講演会・懇談会を開催しています。

開催日	診療科	内容	担当医師数	参加者数
2024年6月29日	皮膚科 形成外科	診療概要・症例紹介	4	第一部 14人 第二部 12人
2024年9月14日	呼吸器内科 呼吸器外科	診療概要・症例紹介	5	第一部 15人 第二部 14人
2024年12月7日	眼科 糖尿病代謝内分泌内科	診療概要・症例紹介	3	第一部 25人 第二部 20人
2025年2月22日	血液内科 腫瘍内科	診療概要・症例紹介	2	第一部 25人 第二部 21人
2025年6月19日	消化器内科 消化器外科	診療概要・症例紹介	6	第一部 45人 第二部 39人
2025年9月18日	循環器内科	診療概要・症例紹介	2	第一部 48人 第二部 35人
2025年11月5日	産科 小児科 新生児集中治療部 小児外科	診療概要・症例紹介	4	第一部 47人 第二部 33人
2025年12月18日	呼吸器内科 循環器内科 心臓外科	診療概要・症例紹介	3	第一部 24人 第二部 21人

地域医療機関での実習・研修

・医学部生の臨床実習について、地域の医療機関の協力を得て実施しています。

※2025年4月1日～2026年3月31日迄の実績+予測

当院外での**医学部生の臨床実習**の状況

精神科実習（1人当たり8～10日）：133名参加

成田赤十字病院（成田市）

鳳生会成田病院（成田市）

国府台病院（市川市）

学而会木村病院（千葉市）

千葉県総合救急災害医療センター（千葉市）

小児科実習（1人当たり4～15日）：138名参加

成田赤十字病院（成田市）

渡辺小児科医院（成田市）

感染症実習（1人当たり5日）：4名参加

成田赤十字病院（成田市）

市民公開講座の開催状況

- ・市民公開講座は、昨年度同様、今年度は8回開催しました。
- ・糖尿病教室も、地域への啓蒙活動として継続的に開催しています。

(参加人数 単位：人)

開催日		テ ー マ	担当診療科	参加者数
2024 年度	5月11日	なぜ効くの？漢方薬の秘密を教えます～西洋薬との違いと効能	予防医学センター	81
	6月8日	呼吸器の病気～内科医と外科医によるお話	呼吸器内科・外科	51
	6月29日	全身の病気と眼の病気～眼は身体の窓～	眼科	192
	7月20日	肝臓の気になる病気と最新治療	消化器内科	56
	8月24日	よくわかる！認知症と上手に向きあう方法	脳神経内科	72
	10月26日	真剣に考えたい骨のこと～多職種で取り組む骨粗しょう症	整形外科	88
	12月14日	心不全にチームで挑む	循環器内科	51
	2月7日	リハビリテーションで肺炎を予防する	リハビリテーション科	49
2025 年度	4月19日	呼吸が苦しいのは歳のせい？～呼吸器内科医が伝える息切れの話～	呼吸器内科	64
	6月28日	海外で感染症にかからないために	感染症科	27
	7月12日	気になるドキドキ・ハアハア、どうしたらいいの？～心臓のサインを見逃さないた	循環器内科	69
	8月2日	“足の血栓”が肺を襲う！？エコノミークラス症候群の怖さ	心臓外科&呼吸器内科&循環器内科	63
	10月11日	よくわかる“きこえ”“難聴”“耳なり”のおはなし	耳鼻咽喉科	102
	10月18日	変形性膝関節症とリハビリについて	整形外科	117
	10月25日	赤ちゃんに必要なお手伝いと妊娠中の準備について	新生児集中治療部	16
	12月13日	気になる“脳のサイン”を見逃さない！今日からできる脳の健康づくり	脳神経外科	93

(参加人数 単位：人)

糖尿病教室 「糖尿病・代謝・内分泌内科」 参加人数推移		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月
	2024年度	—	45	—	27	—	55	89	53	—	54	—	51
	2025年度	—	61	—	61	—	51	—	60	—	29		

今後の主な計画①

- ・病院機能の拡充のほか、基幹型臨床研修病院として教育の側面からも役割を果たしつつ、地域への更なる包括医療提供を進めて参ります。

①成田地区における包括的な医療・介護・福祉の体制整備

急性期

国際医療福祉大学成田病院
642床 2020年3月開院



回復期

成田リハビリテーション病院
100床 2025年4月継承



介護福祉施設

成田老年医療福祉センター
200床 2025年4月開設
(介護老人保健施設100床・特別養護老人ホーム100床)

②千葉県における診療体制・臨床教育の充実

国際医療福祉大学市川総合病院
511床 2026年4月1日 開院



※2025年12月18日、本学と東京歯科大学において、
東京歯科大学市川総合病院の継承について事業譲渡契約締結

今後の主な計画②

③薬学部の開設・薬学部棟の新設

- ・2024年4月、公津の杜成田キャンパスに薬学部開設
- ・2026年2月、成田病院隣接地に薬学部棟竣工

④特定機能病院の申請

- ・特定機能病院の承認取得に向けて、2025年5月に申請書を提出済

⑤小児医療および周産期医療

- ・2025年10月、NICU（新生児集中治療室）9床開設済
- ・2026年1月、地域周産期母子医療センターの指定認定 ※認定年月日：2026年4月1日

⑥がん診療連携拠点病院等の整備

- ・千葉県がん診療連携協力病院として、2022年4月：肝胆膵がん、2023年5月：乳がんを指定
- ・2025年4月、肺/胃/大腸/子宮/前立腺の各がんを指定
- ・2026年2月、地域がん診療連携拠点病院を指定認定 ※認定年月日：2026年4月1日
- ・がんゲノム医療連携病院を今後申請予定

⑦臓器移植医療の開始

- ・2024年度は、生体腎移植を3例実施
- ・2025年度は、脳死患者から提供を受けた腎移植を1例実施
- ・消化器外科に移植医を配置・適応委員会を組織化して生体肝移植を今後実施予定
- ・アイバンクと契約を締結して角膜提供可能

今後の主な計画③

⑧救急医療体制の整備・拡充

- ・二次救急指定病院として印旛市郡医療圏を超えて応需数を拡大させており、2025年度は、救急車5,000台（重症約900例を含む）・walk-in4,000人を超える見込
- ・救命救急センター開設を目指して準備中

⑨新興感染症対策

- ・成田空港に隣接する大学病院として、トラベルクリニックでは渡航前後の健康管理を包括的に支援して、2025年7月より成田空港検疫所巡回診療による黄熱ワクチン接種を開始
- ・第一種指定医療機関として一種病床を備え、国、千葉県、印旛保健所、成田空港検疫所と今後も緊密に連携し、海外から持ち込まれる新興感染症に対する迅速な初動対応を通じて、国内拡散防止に貢献していく方針

⑩災害拠点病院

- ・2022年12月、千葉県より正式に災害拠点病院に指定
 - ・2025年9月、大規模地震時医療活動訓練（DMAT隊）、
同年10月航空機事故消火救難総合訓練（DMAT隊）に参加
 - ・2026年1月、院内防災訓練を実施予定・多摩東部直下型DMAT関東ブロック訓練参加予定
- ※これらの訓練を通じて、実践的な災害対応能力の一層の向上を図るとともに、院内における災害対応マニュアルの継続的な整備、BCPマニュアルの見直し・検討を進め、災害拠点病院として求められる対応能力の維持・強化に注力

⑪新たな地域医療構想への協力